

## 1. はじめに

高校への進学率が9割を超える現在、様々な進路意識をもった中学生が高校へ入学しています。このような状況において、従来の普通科高校や専門高校（農業・工業・商業等）のように、入学の段階で自身の方向性を決めた生徒を受け入れる高校だけでは不十分になってきました。そこで、生徒の進路意識の差や様々な進路希望に対応するため、総合学科という新しいタイプの高校が設置されるようになりました。

皆さんが入学した遠江総合高校も、その新しいタイプの高校の一つです。本校では、普通教科から専門教科（農業・工業・商業・家庭・福祉）まで、生徒が自身の進路に合わせて選択できるような100科目以上を開講しています。しかし、ここで問題になってくるのは「どの科目を選択して良いのか？」ということです。その問題を解決するために、このシラバスを作成しています。大海を進む船が羅針盤で方位を測定して進む方向を決めるように、このシラバスは皆さんの進路を方向付ける羅針盤の役割を果たしてくれるものなのです。

総合学科では、生徒一人一人の個性を生かし、主体的な学習を重視しています。本校では「人文社会」「自然科学」「食品園芸」「機械技術」「電子情報」「ビジネス」「ライフデザイン」の7つの系列を設け、それぞれの系列で普通科目や、農業・工業・商業・家庭・福祉などの専門科目から選択学習することを特徴としています。何を選択し、どのように学ぶかは、皆さんの将来の進路希望と大きく関係があります。

このシラバスが、総合学科で学ぶ皆さんの羅針盤として、将来の進路希望に向けて確かな方向に導いてくれることを期待しています。

### 【活用法】

シラバスは、一年間の授業計画を分かり易くまとめたものです。授業計画とは、単純に「いつ、何をやるか」だけでなく、教科・科目の学習を通して「どのような能力を身に付けたいか」という教科・科目の目的から始まり「どのような方法で（何を使って）授業をするか」「どのような点をどのような方法で評価するか」といった授業内容の全てを含んだ実践計画書です。



では「学習の手引き」の有効な活用法とは何でしょうか。

- ①読むことで「いつ頃、どのようなことを学ぶのか」「授業ではどのような点に気をつけたら良いのか」などが分かります。受け身の授業ではなく、自ら進んで学ぶための資料となります。
- ②一年間の授業内容を見て、自身が希望する進路を実現するために十分であるか、足りないとしたら次年度はどのような授業を選択したら良いかなど、将来に向けた判断材料になります。
- ③1年次生は2年次以降の系列および科目選択を、2年次生は次年度の科目選択を決める際の参考になり、自身の進路を考える上で役立ちます。

この他にもまだまだ多くの活用法があります。まずは「現在受けている授業」「来年・再来年に選択できる（選択してみたい）授業」を確認してみましょう。是非、有効に活用してください。

## 2. 教育方針

- 自己の確立と生きる力の育成
- 豊かな感性と健やかな心身の育成
- 地域社会に貢献できる人材の育成

## 3. 総合学科と系列について

(1)「単位制」とは

総合学科は、学年の区分を設けない（年次制）選択授業中心の教育課程を編成・実施するとともに、必要単位数の修得により卒業を認定するなど、単位を基準とした学習量をはかる仕組みを持ちます。

(2)「系列」とは

進路実現のために生徒の興味・関心に合わせて7つの系列を設置しています。2・3年次には系列選択科目があり、専門性を深めます。

### 【人文社会系列】

国語、地歴・公民、外国語に関する幅広い知識を習得するとともに、国際理解の向上を目指し、表現能力や現代の社会に対する洞察力や情報活用能力を育成します。

### 【自然科学系列】

数学や理科に関する幅広い知識を習得するとともに、観察や実験など体験的な学習活動を通して、科学的なものの見方や考え方、情報活用能力を育成します。

### 【食品園芸系列】

栽培（野菜・草花）の基礎基本から食品加工・分析・流通までの知識・技術を習得し、社会の変化に主体的に対応できる能力と態度を育成します。また、体験活動を通して「いのち」を大切にすることを学びます。

### 【機械技術系列】

機械や工具を用いた加工技術に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得するとともに、機械の設計・開発までの手法についても学び、自ら考え判断できる実践的な技術者として必要な能力と態度を育成します。

### 【電子情報系列】

コンピュータの基礎となる半導体素子の原理を理解し、情報技術に関する知識と技術を習得するとともに、メカトロニクスにおける活用の手法や電子回路などを幅広く学び、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育成します。

### 【ビジネス系列】

商業の各分野（マーケティング、ビジネス経済、会計、ビジネス情報）に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、社会人としての基礎・基本を育成するとともに、ビジネス活動に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

### 【ライフデザイン系列】

家庭、福祉に関する幅広い知識と技術を習得し、生涯学習の観点から心身ともに充実した生活を創造するとともに、地域の人々と共生することを視点に衣食住と福祉を捉え、地域の福祉に貢献できる能力と態度を育成します。

(3)「少人数制授業」とは

多くの選択科目が設置されていますので、少人数で学習する機会が多くなります。また、教科・科目によって、体験や技術・技能の習得を重視した実践的な科目もあります。これらの科目では、将来の授業選択に役立つような「検定」や「資格取得」も可能になります。

## 4. 単位および履修・習得について

### (1) 「単位」とは

高校では、学習の分量を量る際に「単位」という言葉を用います。1単位とは、50分の授業を毎週1回行った場合の年間35週分の学習量になります。本校では、1週間に29時間（水曜日6限目のホームルーム活動を除く）および年間を通して集中的に学習する1年次の総合的な探究の時間を単位の修得に充てています。一年間の学習を修了すると、1年次生は30単位、2・3年次生は29単位修得できます。単位数は、科目によって異なります。例えば1年次で学習する「数学Ⅰ」は、週4時間の授業であるので4単位となります。

### (2) 「履修」とは

授業に出席し、しっかりと授業を受けた場合に該当科目の履修が認められます。授業に遅れた場合、その授業の出席が認められないことがありますので注意してください。本校では、年間授業時数（単位数×35週）の5分の1を超える欠課（授業の欠席）がある場合、年度末までに補充をしなければいけません。補充が完了しない、または欠課が年間授業時数の3分の1を超えると、その科目の履修が認められません。

### (3) 「修得」とは

該当科目の履修が認められた上で、学習の成果も認められ5段階の「2」以上（3年次生は10段階の「3」以上）の成績を学年末に取得すれば、その科目の単位を修得したことになります。従って「1」（3年次生は「2」「1」）は修得不認定（=欠点）となります。1・2学期の欠点は途中経過にありこのままだと3学期（学年末）に修得不認定となる可能性があるという警告です。

例) 「数学Ⅰ（4単位）」→授業に出席し「履修」が認められる。

→授業への取り組み、定期試験、課題等の総合的な成果により「修得」が認められる。

→この結果「数学Ⅰの4単位」を修得したことになる。

### (4) 「卒業要件」

①原則として、全ての科目および総合的な探究の時間（87単位）の履修が認められていること。

②1年次からの修得単位の合計が80単位以上であること。なお、資格取得による増加単位（11. 知識および技能に関する審査の成果に係る単位認定について）も卒業単位に含むことができる。

③特別活動（ホームルーム活動や学校行事など）への出席・取り組みが良好であること。

### 【注意】

各学期の成績評価が1の科目（3年次生は1または2の科目）について、長期休業中に補習および再試験を行います。日程等の詳細については、事前に特別指導に関する説明会を開きます。

なお、各学期に3分の1を超える授業欠課があった場合は、評価が出ず成績表が空欄となります。5分の1を超える授業欠課があった場合は、警告の意味で評定が（4）のように括弧付きで成績表に記されます。

欠課が学年末に年間授業時数（単位数×35週）の3分の1を超える場合、履修（授業を受けたこと）が認められません。

また、欠課時数が年間授業時数（単位数×35週）の5分の1を超える場合、年度末に補充が必要となります。期限までに補充が完了しない場合、履修が（授業を受けたこと）が認められません。

## 5. 教育課程について

### 【各教科・科目】

#### ①必履修科目

高等学校学習指導要領により、全ての高校生が履修しなければいけない科目です。具体的な科目は次ページ以降を参考にしてください。（1年次に多く開講されています。）

#### ②原則履修科目

総合学科特有の科目である「産業社会と人間」で、1年次に全員が履修します。「産業社会と人間」は、自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することをねらいとして、系列体験学習などの体験的な学習を中心に行います。後期からは決定した系列毎に、系列での学びと社会とのつながりを学習するなかで将来の自分を展望していきます。

#### ③系列選択科目

7つの系列の専門性を探るために設置された科目です。

#### ④自由選択科目

系列に関係のない科目、他系列の科目、自身の系列を更に深める科目等が設置され、選択によって自分だけの個性的な時間割（科目選択）が実現できます。（一部の科目では系列指定科目があります。）

### 【総合的な探究の時間】

本校では「Step Up Time（呼称：SUT）」という名称で、各年次に1単位ずつ設置され、探究的な学習を通して、生きること、学ぶこと、働くこととのつながりを考え、自己の在り方、生き方を考える学習を行います。

### 【特別活動】

ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動が、これに該当します。

令和4・5年度入学生 教育課程表

必修科目

※教育課程に関しては、今後変更の可能性があります。

2年次生

|   |      |    |    |      |       |              |                    |                      |                  |                |                |             |                |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---|------|----|----|------|-------|--------------|--------------------|----------------------|------------------|----------------|----------------|-------------|----------------|---------|--|--|---------|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 人文社会  | 1    | 2  | 3  | 4    | 5     | 6            | 7                  | 8                    | 9                | 10             | 11             | 12          | 13             | 14      | 15   | 16   | 17      | 18       | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 自然科学<br>食品園芸<br>機械技術<br>電子情報<br>ビジネス<br>ライフデザイン | 論理国語 | 体育 | 保健 | 古典探究 | 歴史総合  | 地理総合         | 数学 A               |                      | 数学 II            | 生物基礎<br>化学基礎   | 英語コミュニケーション II |             | 英語コミュニケーション II | 論理・表現 I | <自由選択 A 群><br>古典探究<br>数学 II<br>化学基礎<br>体育演習<br>音楽 I<br>美術 I<br>書道 I<br>英語コミュニケーション I 演習<br>地域資源活用<br>電子機械<br>生産技術<br>マーケティング<br>情報処理 | <自由選択 B 群><br>数学 A<br>化学基礎<br>音楽 II<br>美術 II<br>書道 II<br>英語コミュニケーション I 演習<br>フッパの造形基礎<br>食品化学<br>工業材料技術<br>電子回路<br>ネットワーク活用<br>コミュニケーション技術 | SU<br>T | HR<br>活動 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 A  | 数学 II        |                    | 物理基礎<br>生物基礎<br>(前半) | 物理<br>生物<br>(後半) | 英語コミュニケーション II | 論理・表現 I        |             |                |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 A  | 生物基礎<br>化学基礎 | 英語<br>コミュニケーション II |                      | 農業と環境            |                | 食品化学           | 食品製造        | 農業と情報          |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 II | 物理基礎         | 英語<br>コミュニケーション II |                      | 機械設計             | 製 図            | 工業技術基礎<br>(前半) | 実 習<br>(後半) |                |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 II | 物理基礎         | 英語<br>コミュニケーション II |                      | 電気回路             | 製 図            | 工業情報数理         |             | 工業技術基礎         |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 A  | 生物基礎         | 英語<br>コミュニケーション II |                      | ビジネス基礎           |                | 簿 記            |             | 情報処理           |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |    | 歴史総合 | 数学 A  | 生物基礎         | 英語<br>コミュニケーション II |                      | 保育基礎             | フードデザイン        |                | 社会福祉基礎      | 生活支援技術         |         |  |  |         |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

3年次生

|   |      |    |      |          |                |                |                          |                   |          |  |  |   |   |         |          |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---|------|----|------|----------|----------------|----------------|--------------------------|-------------------|----------|--|--|---|---|---------|----------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 人文社会  | 1    | 2  | 3    | 4        | 5              | 6              | 7                        | 8                 | 9        | 10   | 11   | 12  | 13  | 14      | 15       | 16           | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 自然科学<br>食品園芸<br>機械技術<br>電子情報<br>ビジネス<br>ライフデザイン | 論理国語 | 体育 | 古典探究 | 国語表現     | 世界史探究<br>日本史探究 |                | 英語コミュニケーション II 演習        |                   | 論理・表現 II | <自由選択 C 群><br>倫 理<br>数 学 B<br>音 楽 I<br>美 術 I<br>書 道 I<br>フードデザイン<br>地域資源活用<br>原 動 機<br>プログラミング技術<br>財務会計 I<br>情報処理<br>生活支援技術 | <自由選択 D 群><br>文学国語<br>日本史探究<br>化学 ①<br>音楽 III<br>美術 III<br>書道 III<br>英語コミュニケーション II 演習<br>保育基礎<br>生物活用<br>工業管理技術<br>自動車工学<br>マーケティング<br>こことからの理<br>解 | <自由選択 E 群><br>国語表現<br>世界史探究<br>数学 C<br>化学 ②<br>演奏研究<br>絵 画<br>実用書道<br>英語コミュニケーション II 演習<br>生物活用<br>電気回路<br>電子計測制御<br>ネットワーク活用 | <自由選択 F 群><br>古典探究演習<br>数学 I 演習<br>郷土研究<br>スポーツ II<br>伝統・基礎音楽<br>森町の伝統工芸<br>書道表現<br>食品製造<br>課題研究(機)<br>課題研究(電)<br>原価計算<br>ソフトウェア活用<br>コミュニケーション技術 | SU<br>T | HR<br>活動 |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 数学 II 演習 | 数学 C           | 物 理            | 英語コミュニケーション II 演習        | 論理・表現 II          |          |  |  |   |   |         |          |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 III         | 数学 C           | 物 理                      | 英語コミュニケーション II 演習 | 論理・表現 II |  |  |   |   |         |          |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 A           | 野 菜<br>草 花     | 食品製造                     | 植物バイオ<br>テクノロジー   | 食品流通     |  |  |   |   |         |          | 課題研究         |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 II          | 機械工作           | 機械設計                     | 製 図               | 実 習      |  |  |   |   |         |          |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 II          | ハードウェア<br>技術   | ソフトウェア<br>技術             | 電気回路              | 実 習      |  |  |   |   |         |          |              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 A           | 課題研究           |                          | 総合実践              | ソフトウェア活用 |  |  |   |   |         |          | ネットワーク管理     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|   |      |    |      | 地理総合     | 数学 A           | 課題研究<br>社会福祉探究 | R6のみ 保育実践<br>R7のみ 家庭基礎演習 | 服飾手芸<br>介護総合演習    | 食 文 化    |  |  |   |   |         |          | こことからの理<br>解 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |



